

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月18日

計画の名称	環境にやさしいまちづくりのための下水道重点計画												
計画の期間	平成30年度～令和04年度(5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	磐田市												
計画の目標	人口増加や近代化による生活排水の増加に伴い、河川の汚濁が深刻な問題となっている。そのため公共下水道の設置により、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資することを目的とする。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,040	A	5,040	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H34末)
1	①毎年下水処理人口普及率約1.0%向上を目標として82.4%(H29末)から87.4%(H34末)に向上 下水道処理人口普及率 下水道処理人口普及率=供用開始区域内人口/行政人口	82%	84%	87%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
H30当初の現況値はH29末を使用														

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費	費用	個別施設計画	
		種別	種別	対象	間接								H30	H31	R02	R03	R04	(百万円)	便益比	策定状況
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	磐田市	直接	磐田市	管渠 (新設	磐南処理区管渠整備 (ア クシヨンプランに基づく 下水道未普及解消)	汚水管 φ200～φ500 L=35.2k m	磐田市	■	■	■	■	■	4,576		策定済	
	A07-002	下水道	一般	磐田市	直接	磐田市	管渠 (新設	豊岡処理区管渠整備 (ア クシヨンプランに基づく 下水道未普及解消)	汚水管 φ150～φ300 L=5.8km	磐田市	■	■	■	■	■	464		策定済	
											小計						5,040			
											合計						5,040			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業主体：磐田市環境水道部上下水道工事課
 評価にかかる審議：磐田市環境水道部公共事業評価審査会

事後評価の実施時期

令和6年3月 磐田市環境水道部公共事業評価審査会

公表の方法

磐田市ホームページに記載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
 交付対象事業の効果の発現状況

下水道の未普及箇所の整備を実施することで、生活環境の改善と公共用水域の水質保全の促進が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
 効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、生活環境の改善と公共用水域の水質保全に向けて、未普及箇所の整備を進めていく。

○目標値の達成状況

番号	指標（略称）		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値／実績値		
1	最終目標値	87%	
	最終実績値	87%	